

平成27年度 福井県伝統的工芸優秀継承者表彰 被表彰者一覧

工芸品名	氏名		年齢	従事年数	住所	勤務先	功績の概要
越前漆器	ただみきお 多田 幹雄		74	58年	鯖江市	個人	<p><b>【伝統技能の功績】</b> 漆器製造工程の一部である角物塗りの伝統技法を継承し、常に技術の研鑽と工夫を重ねており、塗の技術のみならず、季節に合わせた漆の乾燥方法も熟知しているなど、氏の技能は産地内で高く評価されている。</p> <p><b>【後進育成の功績】</b> 産地の若手職人や伝統工芸職人塾生の指導育成に積極的にあたっているほか、うるしの里会館で実演披露を行うなど、産地の知名度向上や後継者の育成・確保に繋がる活動に積極的に取り組んでいる</p>
越前打刃物	おおかわかずのり 大川 和則		59	33年	越前市	大川刃物製作所	<p><b>【伝統技能の功績】</b> 産地で唯一の手作業による包丁の研ぎ刃付け・仕上げの伝統的技法を継承し、製造者の鍛造技術やくせに合わせた刃付け作業による最高の仕上げ技術は、産地内で高く評価されている。</p> <p><b>【後進育成の功績】</b> 産地の若手後継者に対する指導や助言を積極的に行うとともに、越前ものづくりフェスタなど各種イベントにおける実演や工房の「見える化」により、産地の活性化や後継者の育成・確保に繋がる活動を意欲的に行っている。</p>
若狭塗箸	たかひろゆき 高尾 浩通		70	34年	小浜市	(株)タカオ代表取締役社長	<p><b>【伝統技能の功績】</b> 貝殻を模様に、その上に漆等を塗り重ね、最後に研ぎ出すことにより美しい模様を産み出す若狭塗箸の伝統的技術を活かしつつ、長年の経験により習得した技術と美的センスにより消費者をとらえる箸づくりを行っている。</p> <p><b>【後進育成の功績】</b> 自社従業員に加え、組合の理事長として積極的に塗箸職人対し、伝統的技術を指導し、後継者の育成と若狭塗箸の保存に貢献している。</p>
越前鬼瓦	きたがわとみえ 北川 富江		61	35年	越前市	北川鬼瓦製作所	<p><b>【伝統技能の功績】</b> 全国初で唯一の女性親方として、現存する最古の鬼瓦流派「立川流」の伝統的技法を継承するとともに、過去の鬼瓦にはない独自の図案や立体的な作風を展開するなど、氏の技能は県内外で高く評価されている。</p> <p><b>【後進育成の功績】</b> ご子息を六代目の後継者として育成したほか、鬼瓦造りに興味を持つ若者に対し、鬼瓦の魅力と基礎技術を教える等、後継者の育成・確保に繋がる活動を積極的に行っている。</p>

計4名

(年齢は、表彰基準日の平成27年11月1日現在のもの)